



# 月刊しずロボ

2025年12月

巻頭写真：掛川東病院の玄関、受付前ホールの南向き窓には、クリスマスツリーが描かれました。地元デザイナー、院長、職員がクレヨンを使って。好評です。

7月2日から執筆した『神経外科ロボの物語』、12月3日に目標の100話に到達しました。

約20週にわたり、毎日少しずつ書き溜め、100話を書き切りました。AIにも壁打ち、ファクトチェック、校正をお願いしながら、伴走していただきました。話の流れを全て把握しながら壁打ちに付き合ってくれるので、たいへんスムーズに資料収集もできました。こちらの意図を汲んでの対話は、執筆マラソンのペースメーカーとして機能しました。一度、プリントアウトして、校正作業に移行します。サブスク公開の準備もしてみようと考えています。事業化できるといいのですが、どうなりますか、年度内を目処にスモールビジネスとしての運営を検討します。

いよいよ全日本医師剣道大会の準備が本格始動します。

次年度6月14日、15日は第59回全日本医師剣道大会静岡大会を事務局として開催、運営いたします。会場は藤枝市民体育館と藤枝市武道館、予約を確定しました。日本剣道形は打太刀加藤純一郎先生、仕太刀森浩輝先生で、塚本哲也先生のご指導を頂きながら、稽古を開始、年明けには刃引きでの稽古に入ります。笠松紀雄会長も手拭いの文字をお決めになり、お土産の準備も進んでいます。審判依頼、参加募集など、塚原事務局長のご指導のもと、万全に準備を進めます。

## セミナー

フジキャンのすぶり教室、フジキチのセルフケアカフェについては、これまで通りに開催中です。2年以上続いています。始めた時は、数回で消滅するものと思っておりましたが、地元のつながり、スタッフさんの営業・運営など、みなさまのおかげで、細々とですが、続けています。

すぶりは、毎回数名の新人さんがお越しで、みなさまにお手製の屋内すぶり用竹刀をお持ち帰りいただいております。多少は、剣道普及に貢献しているのではと、自負しております。

セルフケアカフェでは、毎回3つの話題をご提供しております。おかげさまで、産業医の安全衛生活動支援に役立ちそうな材料を蓄積でき、今後の産業医業務に役立ちそうです。

## 若手研究者の支援活動

牧野健作先生（順天堂大学脳神経外科）：Mechanical

Finderで有限要素法を用いた計算、計算力学研究センターの担当者と打ち合わせ予定です。

そのほか：計測について一件、提案書提出、審査結果待ち。



フジキャンの素振り教室は25回、フジキチのセルフケアカフェは5回（AIセミナーからは10回）とどちらもおかげさまで、意外と続いております。